

第2回新居浜市SDGs推進プラットフォーム・SDGsセミナー

# ESD for 2030

～グローバルな歩みと取組を未来へつなぐ～



特定非営利活動法人えひめグローバルネットワーク  
代表理事 竹内よし子



# えひめグローバルネットワーク（地域ESD活動推進拠点）

1. 活動歴 25年（1998年4月「国際協力勉強会」として発足、2005年10月NPO法人化）
2. 活動分野 国際・環境・教育 ⇔ ネットワーク・パートナーシップ構築
3. 活動範囲 愛媛県、四国、全国、海外：アフリカ・モザンビーク
4. 職員 14～18名（常勤・非常勤・学生アルバイトを含む）
5. ビジョン あらゆる人々が人として平和な日々をおくることができる  
持続可能な社会を実現すること
6. 特徴・モットー 国内外を問わず、地域と地球規模の視点で捉えることを  
大事にしているグローバルな団体



■Think globally, act locally and change personally !  
地球規模で考え、地域で活動し、自ら変わっていこう！

国際・環境・教育の3つの活動を相互に関連させグローバルに「つなぐ」

国際

環境

教育

ネットワーク・パートナーシップで社会課題解決・改善を目指す！

市民活動を活性化し、市民社会の構築に「貢献」



## 外務省 NGO相談員



- 全国10カ所にあるネットワークNGO受託団体のひとつ
- 2004年度より受託、**現在20年目**
- 四国の国際協力NGOとODA情報を発信

モザンビーク  
支援は24年目



## 環境省 四国環境パートナーシップオフィス (四国EPO)



- 全国8カ所にある環境省地方環境EPOのひとつ
- 2007年1月より受託、香川県高松市に開所、**現在17年目**
- 2016年度より愛媛・高知・徳島にデスクを設置
- 2021年より環境省四国事務所と協働で**ローカルSDGs四国**事務局運営



## 環境省 & 文部科学省 四国ESDセンター

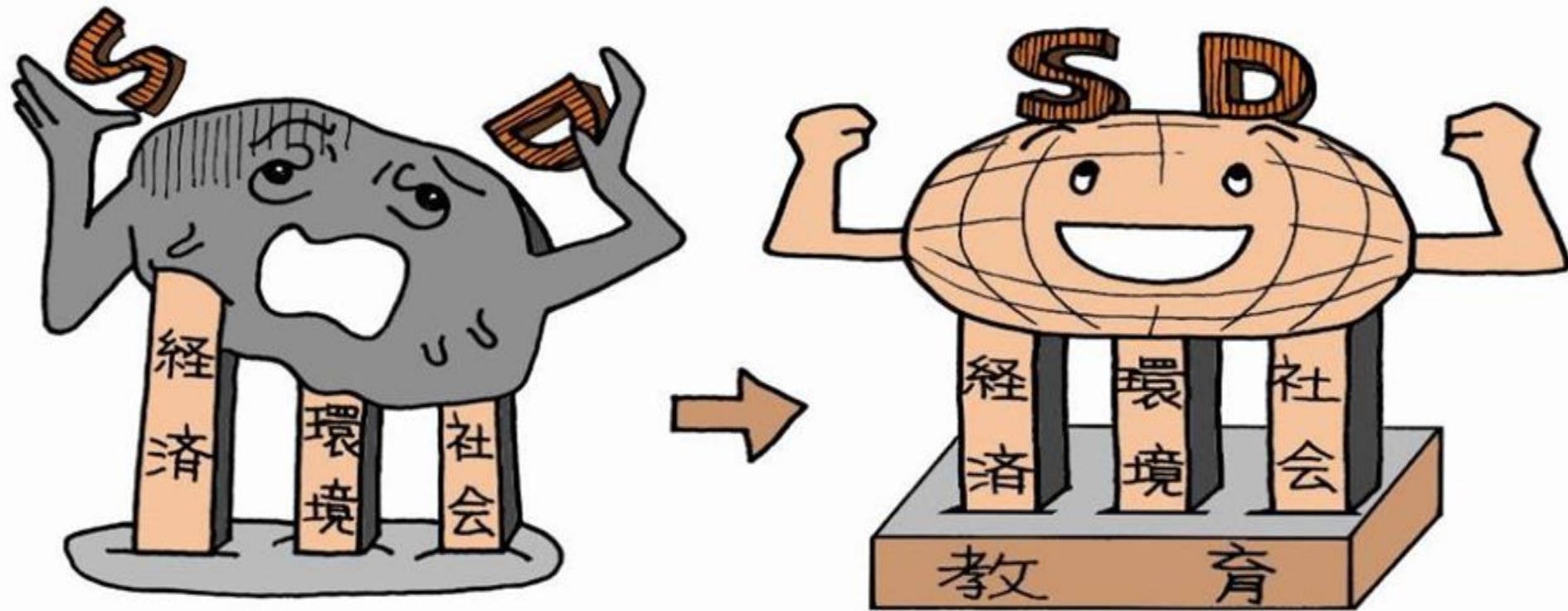


- 全国8EPOの中に開設されたセンターのひとつ
- 2017年7月開設、**現在7年目**
- 四国各県教育委員会・四国地域ESD推進拠点(17拠点)と連携

講演・研修・  
ワークショップ  
等の開催や  
教材の開発

平和で持続可能な社会づくりに向かい、  
市民と共に、政策と共に、歩み続ける。

# ESDについて



# ESD: Education for Sustainable Development 「持続可能な開発のための教育」

今、世界には気候変動、生物多様性の喪失、資源の枯渇、貧困の拡大等人類の開発活動に起因する様々な問題があります。

ESDとは、これらの現代社会の問題を自らの問題として主体的に捉え、人類が将来の世代にわたり恵み豊かな生活を確保できるよう、身近なところから取り組む（think globally, act locally）ことで、問題の解決につながる新たな価値観や行動等の変容をもたらし、持続可能な社会を実現していくことを目指して行う学習・教育活動です。

つまり、ESDは、持続可能な社会の創り手を育む教育です。



# ■ESDの要素（持続可能な社会の構成概念）

ESDでは、単に知識を習得したり、活動に取り組むだけではなく、持続可能な社会の実現に向けて、様々な課題の構造や課題解決に向けた行動が備えるべき要素を考えることが重要です。プログラムを通して考えてほしい概念の例を示しています。

## 課題の構造に関する概念

### 多様性

#### 多様性

社会は多様な事物から成り立っていること

### 相互性

#### 相互性

社会は物や人が関わりあって成り立っていること

### 有限性

#### 有限性

社会を成り立たせている資源やエネルギーには限りがあること

## 課題解決に向けた行動が備えるべき要素に関する概念

### 公平性

#### 公平性

持続可能な社会は、権利の保障や恩恵の享受が公平であること

### 連携性

#### 連携性

持続可能な社会は、多様な主体が状況に応じて互いに協力することで構築されること

### 責任性

#### 責任性

持続可能な社会は、一人一人が責任と義務を自覚し、行動することで構築されること

# ■ESDの視点に立った学習で重視する能力・態度

問題の解決に向けて、自ら考え、決定し、行動できるようになるために、必要となる能力や態度があります。プログラムを通して身につけてほしい能力・態度の例を示しています。

## 批判

### 批判的に考える力

合理的、客観的な情報や公平な判断に基づいて物事の本質を考え、建設的に判断していく力

## 協力

### 他者と協力する態度

他者の立場に立って考えや行動を考え、他者と協力・協同しながら物事を進めようとする態度

## 未来

### 未来像を予測して計画を立てる力

あるべき未来像を考えて、それを他者と共有しながら、物事を計画する力

## 関連

### つながりを尊重する態度

いろいろな物事と自分とのつながりに関心を持ち、それらを大切にしようとする態度

## 多面

### 多面的、総合的に考える力

物事の関りや広がりを理解し、それらを多面的、総合的に考える力

## 参加

### 進んで参加する態度

自分の発言や行動に責任を持ち、自分の役割を理解するとともに、物事に主体的に参加しようとする態度

## 伝達

### コミュニケーションを行う力

自分の気持ちや考えを伝えるとともに、他者の気持ちや考えを尊重するために、積極的にコミュニケーションを行う能力

# ESDに関する国際的な動き

## 1. 「国連ESDの10年」(UNDESD) (United Nations Decade of Education for Sustainable Development)

- 2002年 ヨハネスブルクサミットで我が国が提案
- 2002年 国連決議(第57回総会)
  - ・ 2005～2014年の10年 ・ ユネスコを主導機関に指名
- 2005年 DESD国際実施計画をユネスコにて策定
- 2009年 ESD世界会議(ボン) ・ ボン宣言の採択
- 2014年 ESDに関するユネスコ世界会議(愛知県名古屋市/岡山市)
  - ・ あいち・なごや宣言の採択 ・ ユネスコ/日本ESD賞の創設

「ESD地域ミーティング  
in 愛媛」を2003年6月  
に松山で開催  
ESDの始まり！

## 2. 「ESDに関するグローバル・アクション・プログラム(GAP)」

- 2013年 第37回ユネスコ総会にて採択
- 2014年 第69回国連総会にて採択
- 2015年～2019年 グローバル・アクション・プログラム(GAP)に基づいたESDの推進

## 3. ESD:SDGs実現に向けて(ESD for 2030)

- 2018年 第204回ユネスコ執行委員会にて「2019年以降のESD」にかかる決議を提案  
ESDの将来に関する加盟国協議(バンコク) ・ post-GAP枠組みの草案を議論
- 2019年 第206回ユネスコ執行委員会にてpost-GAP枠組みの草案提出  
第40回ユネスコ総会にて採択、第74回国連総会にて承認
- 2021年 ESD世界会議(オンライン開催) ・ ベルリン宣言の採択
- 2020～2030年 ESD for 2030に基づいたESDの推進

**ESDは、持続可能な社会の創り手の育成を通じ、  
SDGsのすべてのゴールの実現に寄与。**

引用：令和4年度 地方公共団体  
環境教育担当者会議 ([env.go.jp](http://env.go.jp))



# 環境教育・ESDの推進方策



引用：http://eco.env.go.jp/files/material\_r409.pdf

## 環境教育の系譜

1970年代  
経済成長に伴う  
公害問題

公害教育、自然体験学習等の積極化  
<1971年学習指導要領において公害教育を明記>  
先進国から地球規模の課題への変化  
<地球温暖化> <資源の浪費> <生態系の危機>  
国際社会での持続可能性の概念の登場

1990年代

## ESD（持続可能な開発のための教育）への展開

- ・学校のみならず、家庭等あらゆる場所での教育
- ・人と社会との関係性、主体的行動力を養う教育
- ・社会を担う各主体（企業、NGO等）の協働を重視

## 環境教育の制度化

1992

2002

2014

2019

2021

国際

**国連環境開発会議（リオ・サミット）**  
「持続可能な開発」のための教育の重要性を確認

**持続可能な開発に関する世界首脳会議（ヨハネスブルグ・サミット）**  
「持続可能な開発のための教育(ESD)の10年」を我が国が提案

**ESDに関するユネスコ世界会議**  
「国連ESDの10年」の後継プログラムとしての「GAP(Global Action Program)」の開始と「あいち・なごや宣言」の採択

**第40回ユネスコ総会及び第74回国連総会**  
GAPの経験を土台に、新たなESD推進の国際枠組みである「ESD for 2030」が採択

**ESDに関するユネスコ世界会議**  
ベルリン宣言により「ESD for 2030」が本格始動

「国連ESDの10年」（2005～2014年）

国内

**環境基本法（1993年11月公布）**  
第25条に環境教育等の推進を規定

**環境教育推進法（2003年7月公布：議員立法）**

環境保全への理解と取組の意欲を高めるため、環境教育の振興や情報の提供や理念、方針、人材育成等について規定。

**環境教育等促進法（2011年6月公布：議員立法）**

ESDの理念をより明確化。家庭、職場、地域等のあらゆる場で自発的な環境教育が行われるよう、幅広い実践的人材づくりにつながる認定制度等を充実させるとともに、協働取組に係る具体的規定を追加。

**ESD（GAP）国内実施計画（2016年3月決定）**

関係省庁連絡会議（12府省庁、事務局：環境省、文部科学省）にて決定。GAPの優先5分野（①政策的支援、②機関包括的取組、③教育者の育成、④コースの参画、⑤地域コミュニティの参加）に従い、施策を明記。

**第2期ESD国内実施計画（2021年5月：関係省庁連絡会議決定）**

- ・「ESD for 2030」の理念を踏まえ、ESDがSDGs達成への貢献に資するという考え方を初めて明確化。
- ・「ESD for 2030」に示された5つの優先分野ごとに国内の各ステークホルダーが実施する取組を記載。
- ・ESD実現のため多様なステークホルダーを巻き込む方策として、ネットワークの強化及び情報発信の強化を重点実施項目と明記。

## 環境保全活動、環境保全の意欲の増進及び環境教育並びに協働取組に関する基本的な方針（平成30年6月閣議決定）

- ・環境教育等促進法に基づく有識者会議（環境教育等専門家会議）において、4回にわたり法の施行状況について検討を行い、平成30年6月に法に基づく基本方針を変更。
- ・人々の環境配慮行動等を鑑み、「持続可能な社会づくりへの主体的な参加」と、循環と共生という観点からの参加意欲を育むための「**体験活動**」の促進や、地域や企業が取り組む「**体験の場の場**」の活用等を図ることとしている。

## 環境省と文部科学省の連名による教育委員会宛て通知の発出（2021年6月2日付け）

2021年6月2日に改正温対法が成立し公布されたことを受けて、環境省と文部科学省の連名で、**全国の教育委員会等に対し、地球環境問題に関する教育の充実について通知**「気候変動問題をはじめとした地球環境問題に関する教育の充実について」を発出。

## 1. 国連教育変革サミット(9/16~19、於：国連本部)

- 新型コロナ拡大により生じた世界的な教育の危機に対応し、SDG4(教育)達成に向けた政治的意思、貢献、活動を加速化させる機会として、グテーレス事務総長の主導により開催。



冒頭挨拶を行うグテーレス事務総長

## 2. 日本の取組の発表

- 日本の教育変革の取組について、**文書による総理ステートメント**を提出するとともに、9月19日に開催された**首脳級会合において岸田総理がビデオメッセージ**※にてスピーチを実施。

岸田総理スピーチURL：<https://transformingeducationsummit.sdg4education2030.org/JapanNSC>

### 【ステートメント、ビデオメッセージの要旨】

○「人への投資」を中核とした「新しい資本主義」に基づき、教育変革や持続可能な開発のための教育(ESD)を引き続き全力で推進する。

○国内教育に関しては以下の取り組みに注力する。

- ①誰一人取り残さない教育の実現(「こども家庭庁」の設置、教育のデジタル化、奨学金制度等の拡充)
- ②教育の質の一層の向上(「学校の役割」の発揮、STEAM教育の推進、グローバル人材、デジタル化に対応したイノベーション人材の育成)

○また、国際的な教育支援にも最大限取り組む。



岸田総理によるビデオメッセージ(9月19日)

## 3. 成果文書

- 会議後の成果文書として、教育危機がもたらす影響や、より高い目的達成のための教育システムの変革等に言及した、国連事務総長による「ビジョン・ステートメント」が発出。
- 同成果文書では、「人への投資(invest in people)」に言及されるとともに、ESDの推進の重要性が確認されている。

## 4. 首脳級会合に先立つ我が国の貢献



サミットサイドイベントにおける築副大臣の開会御挨拶(9月17日、国連本部)



プレ会合にスピーチのために出席し、各国大臣と記念撮影を行う義本次官(当時)(6月29日、ユネスコ)



アジア太平洋教育大臣会合(バンコク)における末松大臣(当時)の開会ビデオメッセージ(6月6日)

- オールジャパンで我が国のESDを推進。
- 「ESD for 2030」の理念を踏まえ、ESDがSDGs達成への貢献に資するという考え方を初めて明確化。
- ジェンダー平等、2050年カーボンニュートラル、AI・DXの推進等を踏まえつつ持続可能な社会の創り手を育成。

## 1. ESDを実践するために多様なステークホルダーを巻き込む

- 政府は「ユネスコ未来共創プラットフォーム」や「ESD推進ネットワーク」等を活用し、自治体、NGO/NPO、企業、研究・教育機関等をつなぐ重層的なネットワークを強化。
- 国内のみならず国際的にも情報発信を強化し、連携を図る。

## 2. ステークホルダーごとの具体的な取組を5つの優先行動分野別に記載



Advancing policy

### 1. 政策の推進

- ・SDGs 関連政策へのESDの反映
- ・教育政策へのESDの位置付け
- ・地球規模課題に係る施策におけるESDの実施等について記載。



Learning Environment

### 2. 学習環境の変革

- ・学習指導要領に基づくESDの実施
- ・ICT化を通じた教育環境の充実
- ・機関包括型アプローチの推進に向けたネットワークの形成・強化等について記載。



Educators

### 3. 教育者の能力構築

- ・教員等に対する研修等
- ・ESD推進の手引の作成・活用
- ・各機関においてESDを実践する者の育成等について記載。



Youth

### 4. ユースのエンパワーメントと参加の奨励

- ・ユース同士のコミュニティづくり
- ・国際的な議論にユースが参加できる環境づくり
- ・青少年の交流の推進等について記載。



Community

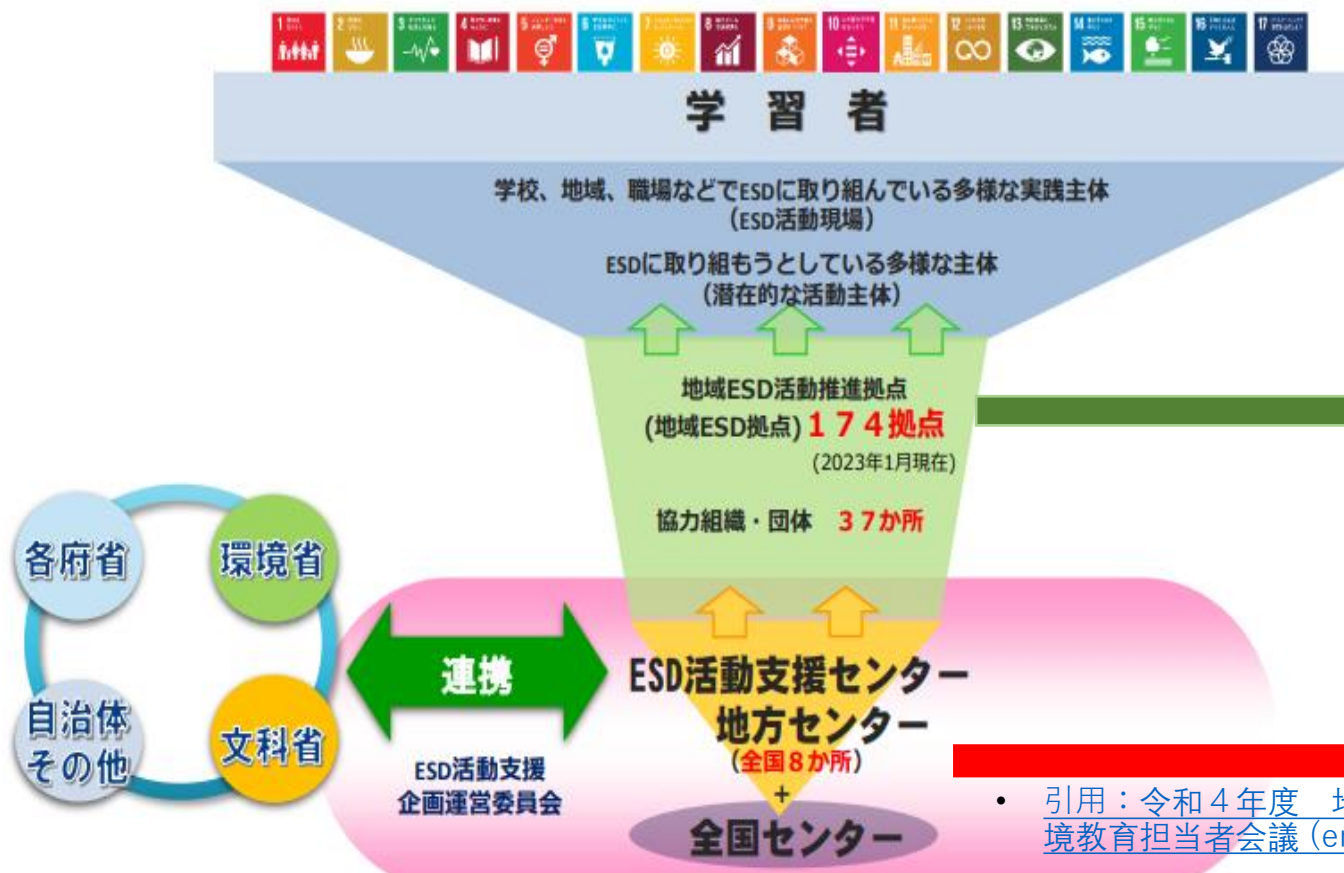
### 5. 地域レベルでの活動の促進

- ・ESDによるローカルSDGsの推進
- ・全国的なESD支援のためのネットワーク機能の発揮等について記載。

# ESD推進ネットワークの整備



- 経緯：ESD国内実施計画に基づき、**文部科学省と環境省が共同**で2016年度にESD活動支援センター(全国センター)を、2017年度に8箇所の地方ESD活動支援センター(地方センター)を開設。
- 体制：**ESD活動支援センター、地方ESD活動支援センター、地域ESD推進拠点、ESD活動支援企画運営委員会**で構成。
- 機能：**①ESD活動を支援する情報共有機能、②現場のニーズを反映したESD活動の支援機能、③ESD活動のネットワーク形成、ESD実践の学びあいの場の促進機能、④人材育成機能**



引用：令和4年度 地方公共団体環境教育担当者会議 (env.go.jp)

## 地域ESD拠点とは？

地域や社会の課題解決に関する学びや活動に取り組み、ESDを支援・推進する役割を担う組織・団体。  
文部科学省と環境省によって開設されたESD活動支援センターが登録を行う。



<https://shikoku.esdcenr.jp/>

# ■四国のESD拠点

～四国には**20**の地域ESD拠点があります（R5年8月末現在）

## 愛媛県

- ① 新居浜市教育委員会
- ③ IKEUCHI ORGANIC株式会社
- ⑦ 株式会社平野 平野薬局
- ⑧ NPO法人 えひめグローバルネットワーク
- ⑭ 一般社団法人ノヤマカンパニー
- ⑯ NPO法人 どんぐり王国
- ⑰ えひめ森林公園
- ⑱ 株式会社タイチ
- ⑳ 新居浜市生涯学習センター

## 高知県

- ⑤ 株式会社 土佐山田ショッピングセンター
- ⑥ 室戸ジオパーク推進協議会
- ⑬ 株式会社 相愛

## 香川県

- ② 高松ユネスコ協会
- ⑨ うどんまるごと循環プロジェクト
- ⑮ 善通寺こどもエコクラブ

## 徳島県

- ④ 株式会社 ハレルヤ
- ⑩ 一般社団法人そらの郷
- ⑪ パンゲアフィールド
- ⑫ 株式会社 井上組
- ⑲ YMCA阿南国際海洋センター



四国地方ESD活動支援センター  
Education for Sustainable Development

全国では**182**の地域ESD拠点が  
あります（R5年8月8日現在）

# 2022年度「四国ESDフォーラム」を開催

# 2023年度、2024年度も、新居浜市で「四国ESDフォーラム」を開催予定

# 新居浜市のESD推進に貢献

# 全国発信の場として活用

やっぱり！なるほど！ESD！  
四国の未来をともに創る「ESD for SDGs」

## 四国ESDフォーラム 2023

ESD(Education for Sustainable Development: 持続可能な開発のための教育)は、SDGs(Sustainable Development Goals: 持続可能な開発目標)達成において重要な役割を果たします。四国地域における具体的な実践事例の紹介、意見交換などを通して、これからの四国のESDや持続可能な地域づくりについて一緒に考えます。オンラインも参加できます。この機会にぜひご参加ください。

参加費無料  
オンライン  
参加OK!

2023  
**2月12日** 日  
10:30~16:00

**A.会場参加 (定員 100名)**  
あかがねミュージアム 屋内ステージ  
(愛媛県新居浜市坂井町2丁目8-1)

**B.オンライン参加 (定員 100名)**  
Zoom ※A, Bいずれも先着順

**現代教育長と市長による**  
**新居浜 ESD for SDGs リレートーク**  
SDGs 未来都市となった新居浜市。そのベースに ESD の取り組みがあることから、これまでの10年を振り返り、新居浜の未来を考える機会とします。

**四国の未来がここにある！**  
**四国ユース ESD×地域 ESD 拠点 交流会**  
四国各県の中・高校生と地域ESD拠点が、ESDやSDGsの取り組みを紹介します。同じ四国でSDGs達成を目指す大人とユースが交流し、持続可能な四国について一緒に考えます。

**発表校**  
・新居浜市立別子中学校  
・徳島県立高岡東高等学校  
・香川県立三本松高等学校  
・愛媛県立今治南中等教育学校  
・高知県立伊野南高等学校

**地域 ESD 拠点**  
・株式会社相愛  
・一般社団法人そらの郷  
・善通寺こどもエコクラブ  
・(特非)えひめグローバルネットワーク

**問合せ・申込み**  
参加ご希望の方は以下申込フォームよりお申込みください。  
<https://forms.office.com/r/Uzk3pQWslUV>  
※申し込み後にリンク先が繋がらなかった場合は恐れ入りますがメールでお問合せください。

◆四国地方 ESD 活動支援センター(四国 ESD センター)  
TEL:087-823-7181 FAX:087-823-5675 メール:info@shikoku-esdcenter.jp

共催 ● 四国地方 ESD 活動支援センター(四国 ESD センター)、中国四国地方環境事務所四国事務所  
新居浜市、新居浜市教育委員会  
協力 ● 四国環境/パートナーシップオフィス(四国 EPO)  
後援 ● 徳島県教育委員会、香川県教育委員会、愛媛県教育委員会、高知県教育委員会、ESD 活動支援センター、特定非営利活動法人持続可能な開発のための教育推進会議(ESD-J)

この取り組みは四国 ESD 活動支援センターの協賛によるものであります。

## プログラム(敬称略)

10:00 開場・受付開始  
10:30 開会挨拶 近森 憲助(四国地方 ESD 活動支援センター長)

**新居浜 ESD for SDGs リレートーク** コーディネーター:近森憲助(四国地方 ESD 活動支援センター長)

ESDのはじまりとSDGsアートフェスティバル ■阿部 義浩 (元あかがねミュージアム館長)	ESDの発展×コミュニティ スクールと地域のつながり ■関 福生 (新居浜市生涯学習センター長)	ESD for 2030へ-SDGs 達成に向けて- ■高橋 良光 (新居浜市教育委員会教育長兼 ESD 活動支援企画推進委員)	SDGs 未来都市としての今後の取り組みについて ■石川 勝行 (新居浜市長)
--	---	--	---

フロアとの交流  
12:00 講演、応援メッセージ 常葉 豊(中国四国地方環境事務所四国事務所長)  
13:00

**四国ユース ESD×地域 ESD 拠点 交流会** コメントーター:柴尾智子(元(公財)ユネスコアジア文化センター、日本ジオパーク委員会委員)

■四国ユース ESD 取組発表 進行:竹下 浩子(愛媛大学教育学部准教授)

伊予県 新居浜市立別子中学校  
共に野草をつくり、共に未来をつくる  
講演者として地域連携をSDGs「ターゲット11」の考え方で解決しよう、3年前から地域と連携して野草づくりを行う活動「野草フォーラム」に挑戦しています。地域のつながりや中学生のアイデアや体力をいかすことで野草づくりが、中学生が地域連携活動の当事者になっています。このつながりを土壌として、今年度は地域の夏まつり連発が実現することもできました。地域を元気にして、持続可能な社会をつくりたいとこれからの取組について紹介します。

徳島県 徳島県立高岡東高等学校  
富養島！～ESD でつながる世界～  
本校は2013年度夏にユネスコスクールに認定され、「環境」「歴史」「経済」「人権」「国際交流」の4本柱でESD学習を展開しています。卒業生も年間かけて、身近な地域連携から、グローバルで実践的な活動に取り組んでいます。地域と連携した合同運動会、"あなごマルシェ"などの取り組みを通して、今年度は地域の夏まつり連発が実現することもできました。地域を元気にして、持続可能な社会をつくりたいとこれからの取組について紹介します。

愛媛県 愛媛県立今治南高等学校  
桜井海岸白砂青松保存プロジェクト  
私たちが住む学校のそばにある海岸には歴史ある景観「白砂青松」があります。桜井海岸は土地を助むため、定期的な「松葉刈り」が不可欠です。しかし、大層に松葉を刈る場所の確保が難しく、地域の方が大変苦労されていることがわかりました。そこで、商業施設を通じて松葉を刈る学生が活躍しました。すべてが試行錯誤でしたが、活動を通して多くの方と知り合えたりすることができました。この活動を継続させていきます。

香川県 高知県立伊野南高等学校  
夢はいつかの土佐和紙から  
「土佐和紙があらゆるものに活用されることで、環境を保護することなく、自然豊かな高知を守りたい」として「土佐和紙が多くの人の生活の中で使われる場になってほしい」と願いながら、高知市個人と地域のつながり活動を行っています。土佐和紙の伝統的技術やグループで活動する機会を持つ機会が増え、土佐和紙の魅力を発信する活動が、今年度は高知県立伊野南高等学校の協賛で実現しました。土佐和紙の魅力を発信し、高知県の発展に貢献していきます。

※週休休日はさせていただきます

SDGs

■地域ESD拠点交流会 進行:小林 修(愛媛大学環境情報学専攻准教授/愛媛大学 SDGs 推進室(副室長))

- ・地域 ESD 拠点とは～88 か所を目指して～ 四国 ESD センター
- ・「ESD×SDGs ツアーで四国の魅力を発信！」 一般社団法人そらの郷 / 善通寺こどもエコクラブ
- ・「四国 ESD 拠点の可能性を探る！」 株式会社相愛 / (特非)えひめグローバルネットワーク

What's  
**地域 ESD 拠点**  
学校現場・社会教育の現場では、さまざまな主体が地域や社会の課題解決に関する学びや活動に取り組んでいます。そうした現場の ESD を支援・推進する組織・団体等を「地域 ESD 活動推進拠点(地域 ESD 拠点)」として登録しています。四国には現在17の地域 ESD 拠点があり、それぞれの得意分野を生かしながら持続可能な四国を築いています。

発表者・参加者による意見交換・交流、全体共有

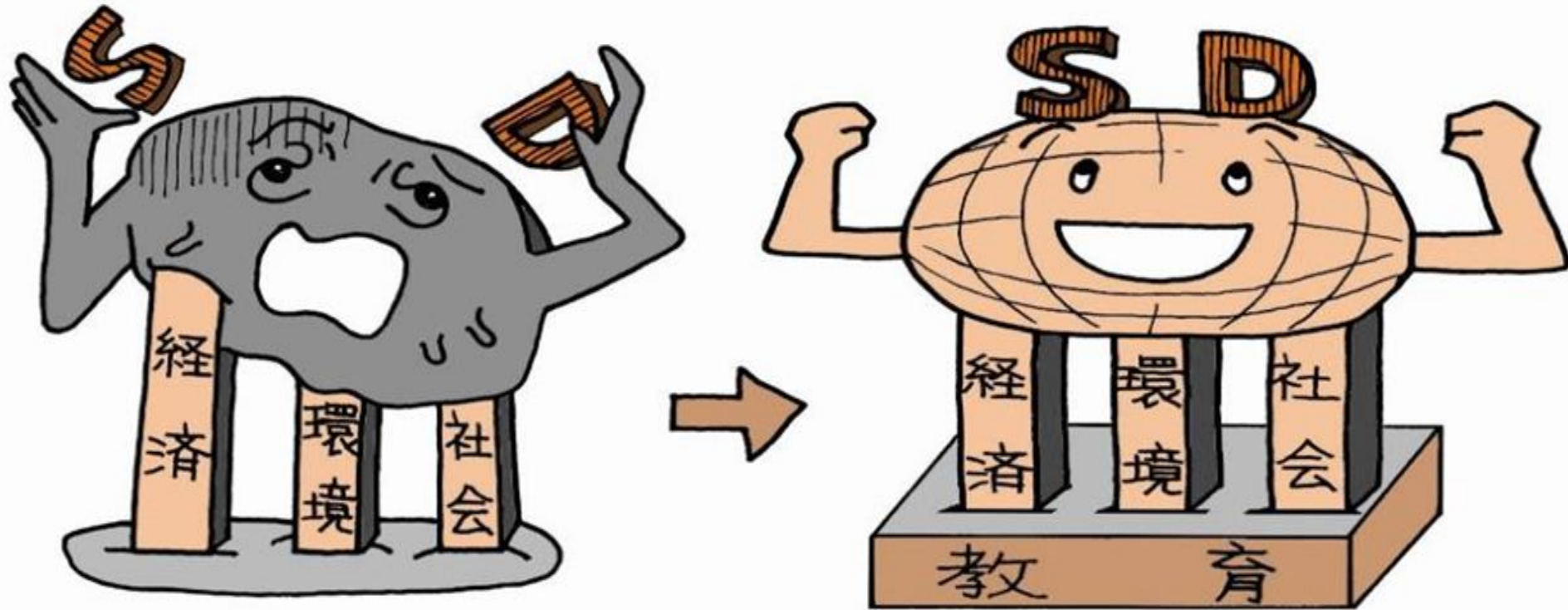
16:00 閉会挨拶 常葉 豊(中国四国地方環境事務所四国事務所長)

ESD は SDGs 達成にとっても重要な役割を果たします  
ESD は Education for Sustainable Development の略で「持続可能な開発のための教育」と訳されています。環境、自然には、環境・食料・人権・平和・開発といった様々な地球規模の課題があります。ESD とは、地球に存在する人間を含めたあらゆる生き物、近い未来までその営みを続けていくために、これらの課題を自らの問題として捉え、一人ひとりが自分ができることを考え、実践していくこと(think globally, act locally)を身につけ、課題解決につながる低炭素や行動を企画し、持続可能な社会を創造していくことを目指す学習や活動です。つまり、ESDは持続可能な社会づくりの強い手を買って教育です。

2023年 HP より <http://www.esd-japancenter.or.jp/about/index.html>

# えひめグローバルネットワークのESD取組紹介

- ①モザンビークESD、②東雲公園ESD、③愛媛森林公園ESD





# モザンビーク共和国・概要



- ・面積：79.9万㎡（日本の約2.1倍）
  - ・首都：マプト 人口約112万人【2017モザンビーク統計局】
  - ・人口：約3,296万人【2022 世銀】
  - ・言語：ポルトガル語
  - ・成人識字率：58.8%【2014-2015 UNDP】
  - ・出生時平均余命：60.2歳【2019 UNDP】
  - ・HIV感染率：10.5%【2015 UNDP】
  - ・国民総所得（GNI）：149億ドル【2019世銀統計】
  - ・一人当たりGNI：480ドル【2019世銀統計】
  - ・人間開発指数（HDI）：184位【2021 UNDP】日本は19位
  - ・歴史
    - 1975年 ポルトガルから独立
    - 1992年 モザンビーク内戦終結
    - 2008年 **ゲブザ大統領が愛媛訪問**
    - 2019年 内戦後27年ぶりの和平
- ⇒レナモの武装解除開始！





# モザンビークNGOによる「銃を鋏へ」平和構築プロジェクトを支援 松山市と連携・協働しながら武器と放置自転車をなくす活動を展開

11 住み続けられる  
まちづくりを



16 平和と公正を  
すべての人に



17 パートナーシップで  
目標を達成しよう



2000～2012年で合計7回、  
**放置自転車**660台を輸送  
モザンビークで銃と交換、  
平和な社会づくりを支援



**松山市の放置自転車は  
市民活動への無償提供  
を提案⇒可能となった！**

**放置自転車も  
減少！**

11 住み続けられる  
まちづくりを



# 武器を造らない社会を創ろう！



- 回収された武器で、アーティストが「武器アート」を製作
- 武器アートは、大英博物館・民族学博物館、聖心女子大学で常設展示！
- 松山市平和資料展で毎年展示 ⇒ 2023年は広島・京都で展示
- 平和の語り部、MIC-ESDコーディネーター派遣で「学び」をつなぐ



4 質の高い教育を  
みんなに



16 平和と公正を  
すべての人に

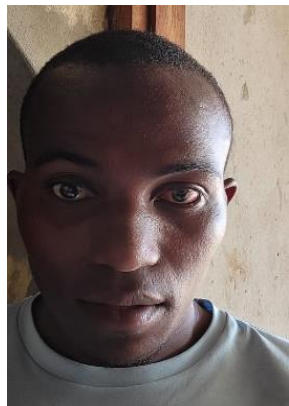
# モザンビーク・オリパラのホストタウンに！

2018年 在モ日本大使館 池田大使の知事表敬、モオリンピック委員会が愛媛県内視察

2019年 愛媛県・松山市・新居浜市・伊予市 「東京オリンピック事前合宿に関する基本合意書」締結

2018～2021年 モザンビークのオリ・パラ選手団とまちぐるみの交流・応援

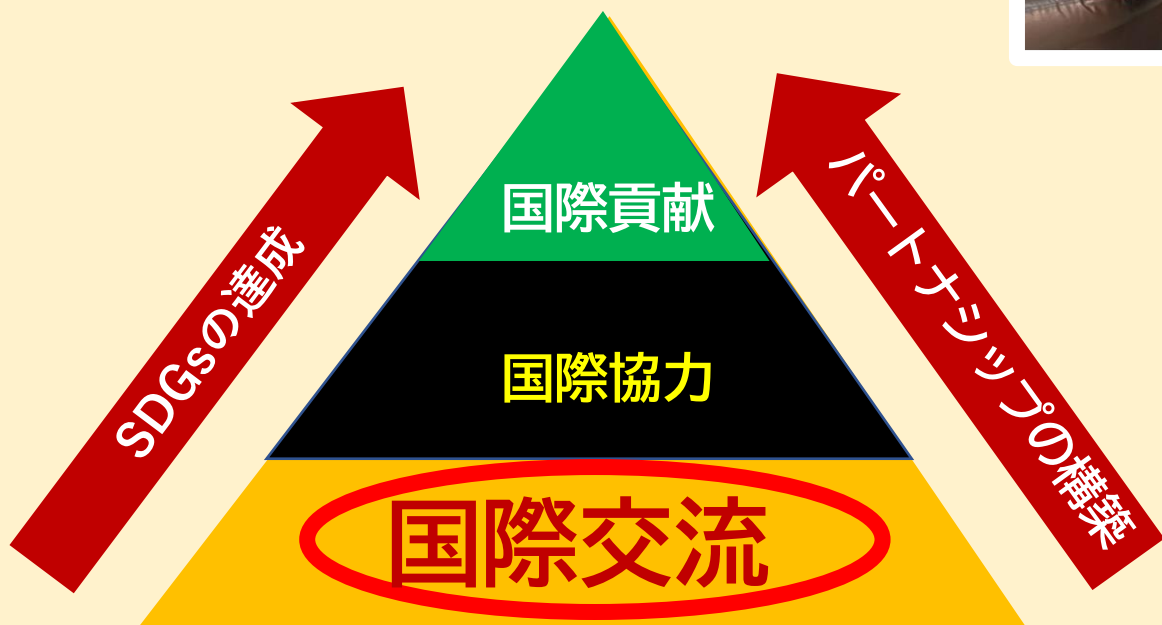
2021～現在 イラーリオさんとの交流、障がいのあるアスリート支援実施中



オリパラ大会後、パラ陸上選手のイラーリオさんから失明の危機の連絡を受けて手術代・メガネ代を募金で応援。  
⇒目の手術が成功し見えるようになったことで、しょうがい者理解と交流の輪が広がりつつある。

新玉小学校(2011年よりユネスコスクール)の卒業生7名が「**Bridge of friendship**」というNGOを立ち上げ、2022年度「松山市次世代育成補助金」を活用し、モザンビークとの交流を開始。メンバー1名が、2023年8～9月にモザンビークを訪問！

平和な社会  
持続可能な社会



国際交流・国際協力活動の「継続」は、国境を越えて人と人の「信頼」を築き、SDGs達成への道(未来)を切り拓く！グローバル(グローバルとローカル)に取り組んで多文化共生型・魅力あるまちづくりに活かそう！

# 『モザンビーク支援事業』

## NGO・CCMの「銃を鍛へ」事業 「武器ゼロ」を目指す平和構築活動

- 武器の恐怖から解放されるという身体的な平和と、精神的な平和
- 生きるための知識、スキルを身に付けることで生活を自ら改善することが出来る



共に目指すゴール

平和な社会  
持続發展的なコミュニティ  
人権の尊重、尊厳の回復  
SDGsの達成

## えひめグローバルネットワーク

- 教育環境の改善、市民教育の場づくり
- 食の安全保障、栄養改善
- 人材交流、学び合いの場の創出
- 収入を得る機会の創出、生活の向上
- リサイクル等、環境課題への取り組み
- 村人の組織化、絆の強化



- ① 自転車、生活物資との交換で市民から武器を回収
- ② 武器は破壊、あるいは武器アートとして啓発に活用
- ③ 人権、憲法、道徳、公衆衛生、モリンガ(植物)の活用と食・健康、リサイクルと廃棄物を活用した手工芸品づくり、縫製訓練等の勉強会・ワークショップの実施、人材交流のアレンジ

協力関係(20年)

課題解決のため  
SDGs達成に向け  
た取り組み

- ① 公民館の建設/運営、小学校の修繕
- ② 環境教育、コミュニティ・フォレスト整備(植林等)
- ③ ESDツアー実施、教育関係者、専門家、ユースの現地訪問、技術・知識の提供(ソーラーボイラー・クッカー寄贈)
- ④ 職業訓練、フェアトレード商品の開発・作成
- ⑤ 「ごみゼロ」社会づくりへの取り組み
- ⑥ 村人が主体的に関われる仕組みの構築
- ⑦ 人材育成

### <コミュニティの課題>

内戦時のトラウマ・自信・希望の喪失、共同体の崩壊、地雷や不発弾の残る土地、援助慣れ・物乞い体質、高い失業率、出稼ぎで働き手の都市への流出、旱魃・気候変動の影響、貧困、栄養不良、教育環境・クリニック等公共施設の不整備、安全な水が入手困難等

# 『愛媛とモザンビークのつながりとESD』

## アフリカ・モザンビーク

◆課題:内戦後に市民の手に残った武器の回収

### NGO・CCMの「銃を鋏へ」という平和構築活動

- ①自転車、生活物資との交換で市民から武器を回収
- ②武器は破壊、あるいは武器アートとして啓発に活用



平和の定着

生活の向上、教育環境の改善、人づくり、環境課題への取り組み、収入を得る機会の創出

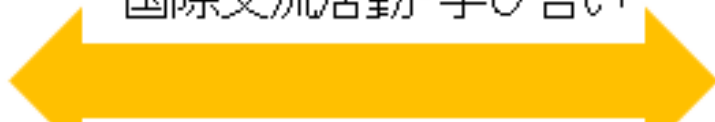
心の復興・平和な社会づくり活動を継続して展開中

問題解決型「平和リサイクル」  
双方の課題を解決する



公民館の建設、支援物資  
以外の支援、事業の実施

国際交流活動・学び合い



愛媛大学・ルオ大学の提携

ESDの事例として、四国、全国、  
日本内外に発信

ESDをひとづくり、まちづくりに  
活かす動き

・新居浜市教育委員会が中心と  
なって同市の全小・中学校が  
ユネスコスクールに加盟

## 愛媛県松山市

◆課題:年間1万台以上の  
放置自転車の撤去

放置自転車を支援物資として  
無償提供(2000年から2012年までの  
12年間で計7回実施)

「平和の語り部」派遣事業  
放置自転車対策等に関する委員会

2002年～小・中学校の「総合的な  
学習の時間」の取り組みの一環とし  
て学校・教員とも連携が進み、地域と  
地球課題の学びと、その改善・解決  
に向けた実践、**ESDの具体例**となる。

SDGs達成に向け  
けた取り組み



新玉小学校が  
ユネスコスクール認定校となる



# 東雲公園ESD（防災コミュニティファーム）

## ■ まちの魅力と課題

松山市中心部に位置する東雲公園は、保育園、小・中学校、愛媛大学など多数の教育施設が隣接し、多様な人々が暮らす地域にあり、落ち着いた雰囲気のある都市公園である。周辺には外国人留学生も生活しており、交流による学び合いの機会づくりが模索されている。

## ■ 核となった拠点の強みと課題

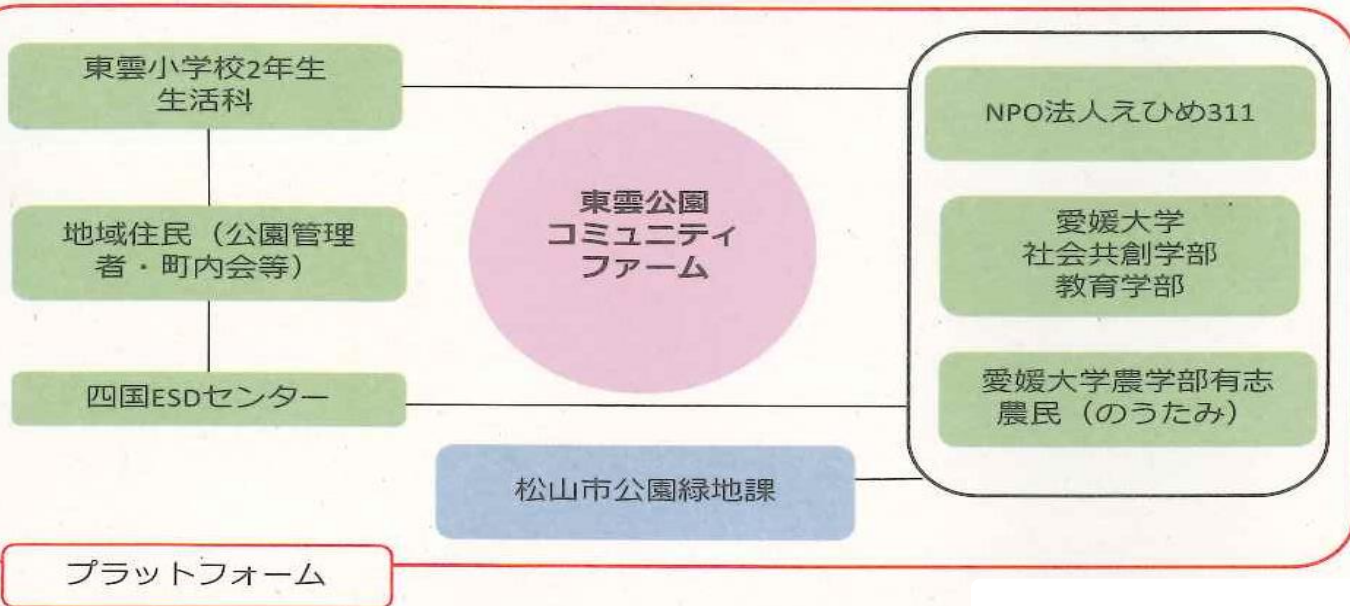
東雲公園には魅力的な遊具や植栽があり、保育園の園児、地域の親子、高齢者などの憩いの場として多くの人に利用されている。大学や小中学校が近く、活動の連携が図りやすいことが強みである。一方、一部に未利用地があり、雑草が茂ってごみが散見される状況があった。

**松山市長・タウンミーティングで未利用地の活用を提案！**

## ■ 拠点のESD実践までの道すじ

仲間づくり

● 拠点    ■ プラットフォーム（■ 行政）



解説：東日本大震災で被災した経験を活かそうと活動するえひめ311のメンバーと、減災社会づくりについて意見交換を行う中で、公園をコミュニティファームに活用するアイデアが生まれた。そこで、愛媛大学農学部有志に土づくりや栽培指導、教育学部・社会共創学部の教員と学生に環境教育および地域との関係づくりの実践の機会として参画を求め、プラットフォームを構築した。畑づくりの体制が整った後、サツマイモ栽培の授業を東雲小学校に提案するかたちで連携した。



～SDGs達成に向けた～  
持続可能な地域の創り手を育む  
“学びの場”づくり  
ガイドブック  
P39-40 より引用



## 計画づくり



災害に強いまちづくりを目指して、公園の未利用の場所を生かしたコミュニティファームづくりを計画した。コミュニティファームで子どもたちが身近に環境配慮型の農業を体験できたり、収穫物の活用方法を考えたり、農業指導者や教育関係者、大学生や外国人留学生を含めた住民などの交流の場となることにより、公園を通して、住民が循環型社会のあり方や被災時の対応についてイメージを共有し、交流が促進されることを目指した。

### ■主な取組

次の活動を計画した。

- ①松山市に公園の使用許可を得て、未利用地をコミュニティファームとして活用。
- ②東雲小学校の児童がサツマイモ栽培を体験するとともに、畑に生息する生き物に触れる授業の実施。
- ③近隣の外国人留学生等にも参加を呼びかけ、地域住民と協働で防災や発災時の対応を考えるイベントを公園で開催。



## 強化したESD実践の力

### コミュニティファームにおける東雲小の授業

東雲小学校2年生が大学生らの支援を受け、サツマイモの苗植え、草取り、収穫体験、生き物観察を行った

Pick up!

### 住民と留学生の交流型防災イベント開催

住民と留学生が参加し、収穫した作物を使った炊き出し、防災訓練、自転車発電やソーラークッカー体験などができる「インターナショナル・エコ防災」を実施

### コミュニティファームの看板掲示

東雲小児童が農業体験をしていることを地域住民に知ってもらうために、プラットフォームで看板を作成し、設置した

住民と留学生の  
交流型防災  
イベント



①多文化共型・  
減災社会づくり  
+  
②四国災害支援  
ネットワーク  
形成

発展的に展開中

～SDGs達成に  
向けた～

持続可能な地域の  
創り手を育む  
“学びの場”  
づくり  
ガイドブック  
P39-40 より引用





# えひめ森林公園ESD プログラム



- 2021年度より、愛媛県受託事業としてえひめ森林公園をフィールドとした「えひめ森林公園ESDプログラム」を開発。
  - ①どんぐりと遊ぼう！
  - ②森林の働きを知ろう！
  - ③シイタケについて知ろう！
- 2022年度より、伊予市内の小学校によるモデル授業の実践に取り組んでいる。
- 2023年度より、中学生向けプログラム作りを検討中。

# SDGsサミット中間報告

2015年、国連サミットで決定！2030年までに達成を目指す17の世界的目標、169の達成基準、232の指標！

## 互いにつながっている「持続可能な開発目標」

### (SDGs: Sustainable Development Goals)



「誰一人取り残さない」  
(Leave no one behind)



# SDG Summit 2023

- 国連総会ハイレベル・ウィークに合わせて、9月18～19日にニューヨークの国連で、SDG Summit 2023が4年ぶりに開催された。
- SDGsの進捗として、目標は15%しか達成できていない、多くが逆行している。「達成は危機に直面している」として、取り組みの加速を求める政治宣言として、SDGs救済計画が打ち出された。
- 開発のやることリストは、単なる宿題（ホームワーク）ではなく、希望に向けた取り組み（ホープワーク）である。  
※達成できていないネガティブな状況では社会は変わらない、希望を持つことが必要。
- SDGsの後半戦に向けて…
  - \*ゲーム・チェンジャーとして大きなインパクトが見込まれる6つの分野での移行（1. 食料システム、2. 再生可能エネルギー、3. デジタル化、4. 教育、5. 社会的保護と雇用、6. 気候変動・生物多様性の喪失・汚染との闘い）
  - \*そのすべてに横断的に必要とされる完全なジェンダー平等の実現
  - \*これらのハイ・インパクト分野での移行の実現を後押しする5つの分野（SDG刺激策・貿易・地域での実施・公共セクターの能力強化・データの恩恵）以上を統合的に整理した枠組みが、議論の方向性となる。



- SDGサミットと並行して、9月20日に「気候野心サミット」が開催された。
- 「地球温暖化の時代は終わり、地球沸騰化の時代が到来した。」、劇的かつ早急な気候アクションが必要。
- ニューヨーク市街地では、7万人の気候マーチ「Climate Week NYC」が実施された。
- 日本からはSDGs市民社会ネットワーク等のNGO/NPOがSDGサミット2023及び関連イベントに参加した。



## 開催決定!! NYからの発信 市民社会メンバーがみた「SDGサミット2023」

 SDGsジャパン 事務局長 <b>新田英理子</b>	 特定非営利活動法人 ワールド・ビジョン・ ジャパン アドボカシー・ シニア・アドバイザー <b>柴田哲子</b>	 国際協力NGOセンター (JANIC) 理事 THINK Lobby所長 <b>若林秀樹</b>	 特定非営利活動法人 アフリカ日本協議会 共同代表 <b>稲場雅紀</b>
 特定非営利活動法人 ひろしまNPOセンター 事務局長 <b>松原裕樹</b>	 ピースポート 国際コーディネーター <b>メリ ジョイス</b>	 公益社団法人 セーブ・ザ・チルドレン ジャパン アドボカシー部長 <b>堀江由美子</b>	 特定非営利活動法人 「環境・持続社会」 研究センター 事務局長 <b>遠藤理紗</b>
		 持続可能な社会に向けた ジャパンユースプラット フォーム(JYPS) 政策提言部 統括 <b>森井悠里香</b>	

認知度が90%以上あると言われている「SDGs」。  
しかしながら、9月18-19日に国連が主催して実施されるSDGサミット2023が、各国の首脳レベルで実施されることはどのくらいの認知度でしょうか。2019年に続いての2回目の開催の今回。2030年のSDGs達成が危ぶまれる中で、「SDGサミット政治宣言」が採択されるかどうかも焦点となっています。SDGsサミット2023に関連して実施されるSDGsWeekendや気候関連、ワクチンをはじめと国際保健の重要な会議が実施されます。市民社会からは、9つの団体が参加し、SDGs市民社会ネットワークも参加します。マスメディアの報道では聞こえてこない、現地からの声をお届けします。

**国連広報センター所長 根本かおるさん  
登壇決定!!**

日時：2023年9月19日(火) 20:00 ~21:00

開催方法：zoom  
(参加者の方へURLを送付いたします)

申込：<https://tinyurl.com/yl2tedcw>  
またはQRコードから



提供：  
ひろしま  
NPO  
センター  
松原氏



ご清聴ありがとうございました！